

6〜5弦ルートのみから卒業!



ギター・コード・ ボイシング 完全攻略!

※ボイシング=音の積み重ね方

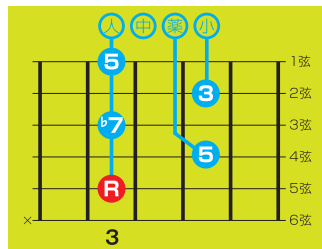
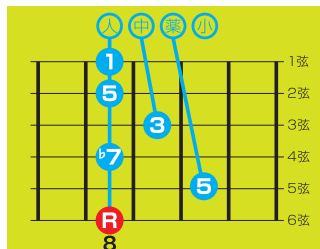


著・山口和也

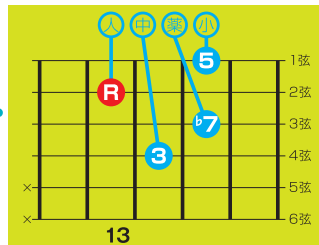
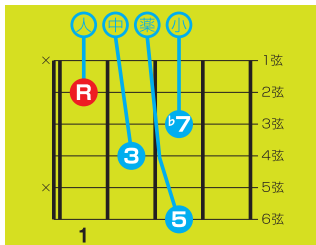
例えばC7を弾く時、

6弦ルート

5弦ルート



はもちろん、
2弦ルートのC7も



or

サラッと押さえられるようであれば
臨機応変なコード・ワークは
できません!

6弦、5弦、4弦、3弦、2弦、1弦、 すべての弦がルートの場合の “使える”ダイアグラムを掲載!

メジャー・セブンス・ナインス

CD track 17
01:23-01:30

Maj7(9)

① 6弦ルート ② 5弦ルート ③ 4弦ルート

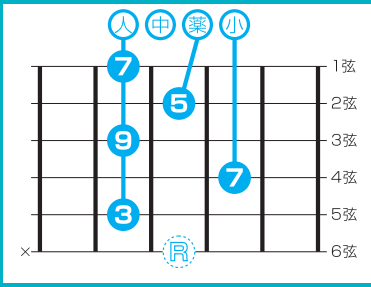
④ 3弦ルート ⑤ 2弦ルート ⑥ 1弦ルート

●本書に登場するコード

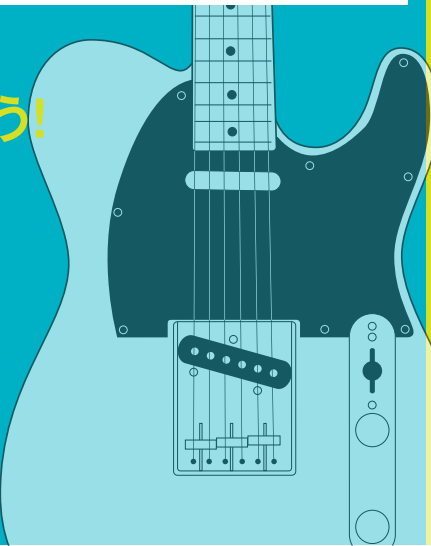
- メジャー(トライアド)
- マイナー(トライアド)
- サスフォー
- オーギュメント
- ディミニッシュ
- メジャー・セブンス
- セブンス
- マイナー・セブンス
- セブンス・サスフォー
- マイナー・メジャー・セブンス
- マイナー・セブンス・フラット・ファイブ
- ディミニッシュ・セブンス
- シックス
- マイナー・シックス
- アドナインス
- マイナー・アドナインス
- メジャー・セブンス・ナインス
- メジャー・セブンス・サーティーンズ
- メジャー・セブンス・シャープ・イレブンス
- セブンス・ナインス
- セブンス・サーティーンズ
- セブンス・フラット・ナインス
- セブンス・シャープ・ナインス
- セブンス・シャープ・イレブンス
- セブンス・フラット・サーティーンズ
- マイナー・セブンス・ナインス
- マイナー・セブンス・イレブンス
- マイナー・メジャー・セブンス・ナインス
- シックス・ナインス
- セブンス・ナインス・サーティーンズ
- セブンス・ナインス・シャープ・イレブンス
- マイナー・セブンス・ナインス・イレブンス
- etc

ルートを押さえない フォームも使いこなそう!

例：メジャー・セブンス・ナインス



Ⓡ = イマジナリー・ルート位置 ※実際には押さえません



ISBN000-0-0000-0000-0
C0000 ¥1800E

定価 本体1,800円 + 税 雑誌 69779-07

6〜5弦ルートのみから卒業！

Guitar
magazine ギターマガジン

ギター・コード・ ボイシング 完全攻略！



著●山口和也

コード・ネームを見てギターを弾く時、最も多いのが6弦か5弦のルートで押さえる人。でも例えば2弦がルートのコードとかもすぐに押さえられるようにしておけば、より演奏の幅が広がります。そしてひとつのルート位置で複数の押さえ方を覚えておくとさらに便利。さらにルートをあえて押さえないフォームまで身につけられたらギター上級者。そんな風に「ルート位置」を軸に考えながら、状況に合った多様なコードが押さえられるコード・ボイシングの達人になれる本です。“使える”コード・ダイアグラム+実践エクササイズまでレクチャー。本書には膨大なダイアグラムが掲載されているので、コード辞書的に活用してもOKです！

RittorMusicMook
<http://www.rittor-music.co.jp/>

はじめに

「A7コードを、思いつく限り、いろんな押さえ方で弾いてもらえますか？」

これは私が主宰するギター・スクールに初めて来られた生徒さんに対して、一番最初にする質問のひとつです。初対面の中でも、この質問に対する生徒さんの答えは、とてもたくさんの情報を与えてくれます。

例えば

- 知っている押さえ方の数 → ギター、指板上の把握度
- 押さえたコードの種類 → スタイル、音楽理論の理解度
- 押さえる順番 → 秩序に基づきコードを整理できているか
- フォームの作り方、押さえる速さ → 左手の指の動き具合
- 弾き方、音質 → ピッキングのタッチ感

などなど、その方の演奏に関わる大体の状態がわかってしまうのです。

本書のタイトルにもある言葉ですが、和音の積み重ね方を「ボイシング」といいます。A7というコードひとつとっても、そのボイシングの種類は数多く存在し、ギター上での押さえ方(コード・フォーム)はさらに多く存在することになります。

実はそれらをたくさん身につけ、演奏することが、先にあげた

- ・ギター&指板上の把握
- ・さまざまなスタイルに対応できるスキル
- ・音楽理論の理解
- ・瞬発的に適切なボイシングを選ぶ力
- ・スムーズでムダのない左手の動き
- ・クリアでダイナミックなピッキング・スキル

といった演奏に必要な多様な技術、知識を手に入れる近道となります。

本書では、第1～2章でその膨大な数のボイシング、コード・フォームを可能な限り紹介、続く第3章で、それらの作り方や考え方を解説。さらに最後の第4章ではエクササイズを用いてコード・ボイシングを使いこなすための実践的な練習法を提案しています。

このホップ! ステップ! ジャンプ!で、あなたのギターの演奏レベルをガツンと上げてしまいましょう!

山口和也

Contents

はじめに	3	ダイアグラムの見方／メイン・ページの見方	8
------	---	----------------------	---

第1章【基本】三和音と四和音

三和音とは?	10
--------	----

四和音とは?	26
--------	----

6弦ルート～1弦ルートの“使える”ダイアグラム

メジャー(トライアド)	2
-------------	---

マイナー(トライアド)	15
-------------	----

サスフォー	18
-------	----

オーギュメント	21
---------	----

ディミニッシュ	24
---------	----

メジャー・セブンス	30
-----------	----

セブンス(ドミナント・セブンス)	33
------------------	----

マイナー・セブンス	36
-----------	----

セブンス・サスフォー	39
------------	----

マイナー・メジャー・セブンス	42
----------------	----

マイナー・セブンス・フラット・ファイブ	45
---------------------	----

ディミニッシュ・セブンス	47
--------------	----

シックスス	49
-------	----

マイナー・シックスス	52
------------	----

第2章【発展】テンションとルート省略

テンション・コードとは?	56
--------------	----

6弦ルート～1弦ルートの“使える”ダイアグラム

アドナインス	62
--------	----

マイナー・アドナインス	64
-------------	----

メジャー・セブンス・ナインス	66
----------------	----

メジャー・セブンス・サーティーンズ	68
メジャー・セブンス・シャープ・イレブンス	70
セブンス・ナインズ	72
セブンス・サーティーンズ	74
セブンス・フラット・ナインズ	76
セブンス・シャープ・ナインズ	78
セブンス・シャープ・イレブンス	80
セブンス・フラット・サーティーンズ	82
マイナー・セブンス・ナインズ	84
マイナー・セブンス・イレブンス	86
マイナー・メジャー・セブンス・ナインズ	88
シックスス・ナインズ	90

ルートを省略したコードについて	92
-----------------	----

ルートを押さえない“使える”ダイアグラム

メジャー・セブンス・ナインズ	94
メジャー・セブンス・サーティーンズ	95
メジャー・セブンス・ナインズ・サーティーンズ	96
メジャー・セブンス・シャープ・イレブンス	97
メジャー・セブンス・ナインズ・シャープ・イレブンス	98
メジャー・セブンス・シャープ・イレブンス・サーティーンズ	100
メジャー・セブンス・ナインズ・シャープ・イレブンス・サーティーンズ	100
セブンス・ナインズ	101
セブンス・サーティーンズ	102
セブンス・ナインズ・サーティーンズ	103
セブンス・フラット・ナインズ	104
セブンス・シャープ・ナインズ	105

セブンス・シャープ・イレブンス	106
セブンス・フラット・サーティーンズ	106
セブンス・フラット・ナインズ・シャープ・ナインズ	107
セブンス・フラット・ナインズ・シャープ・イレブンス	107
セブンス・フラット・ナインズ・フラット・サーティーンズ	108
セブンス・ナインズ・シャープ・イレブンス	109
セブンス・シャープ・ナインズ・フラット・サーティーンズ	110
セブンス・シャープ・イレブンス・サーティーンズ	110
セブンス・フラット・ナインズ・シャープ・ナインズ・フラット・サーティーンズ	110
マイナー・セブンス・ナインズ	111
マイナー・セブンス・イレブンス	112
マイナー・セブンス・ナインズ・イレブンス	113
マイナー・メジャー・セブンス・ナインズ	114
マイナー・セブンス・フラット・ファイブ・イレブンス	115
マイナー・セブンス・フラット・ファイブ・フラット・サーティーンズ	115
シックス・ナインズ	116
マイナー・シックス・ナインズ	117

第3章【応用】コードの作り方とトップ・ノート活用

コードを作ってみよう	120
“使える”オープン・コード	26

第4章【実践】ポイント別のボイシング練習

6弦ルート・フォームを鍛えよう!	132
5弦ルート・フォームを鍛えよう!	133

4弦ルート・フォームを鍛えよう!	134
3弦ルート・フォームを鍛えよう!	135
2弦ルート・フォームを鍛えよう!	136
1弦ルート・フォームを鍛えよう!	137
6&5弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!①	138
6&5弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!②	139
4&3弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!①	140
4&3弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!②	141
2&1弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!①	142
2&1弦ルート・フォームを併せて鍛えよう!②	143
6&5弦ルートのテンション・コード・フォームを鍛えよう!①	144
6&5弦ルートのテンション・コード・フォームを鍛えよう!②	145
1~4弦のみ使用のテンション・コード・フォームを鍛えよう!①	146
1~4弦のみ使用のテンション・コード・フォームを鍛えよう!②	147
2弦トップ・ノート固定フォームを鍛えよう!	148
1弦トップ・ノート固定フォームを鍛えよう!	149
2弦トップ・ノート移動フォームを鍛えよう!	150
1弦トップ・ノート移動フォームを鍛えよう!	151
ストレッチ・フォームを鍛えよう!	152
開放弦使用テンション・コード・フォームを鍛えよう!①	153
開放弦使用テンション・コード・フォームを鍛えよう!②	154
高音弦(1~2弦)開放フォームを鍛えよう!	155
低音弦(6~5弦)開放フォームを鍛えよう!	156
実践的コード・ワークを鍛えよう!	157
コード・ネームを見てスムーズに弾くポイント1	118
付録CDインデックス	158

●本書のダイアグラムの見方

人=人差指 中=中指 薬=薬指 小=小指

※線で繋がっている●を指定の指で押さえる

コード表記

■ Maj7

※□△7とも表記します

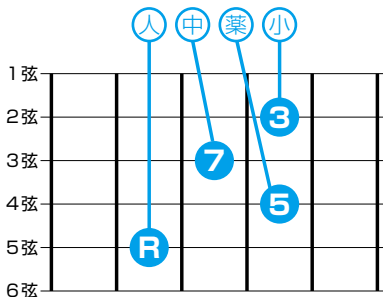
構成音

ルート=R

長3度=3

完全5度=5

長7度=7



※青い●は弦を押さえる場所と度数を示しています

●メイン・ページの要素の見方

コードの名称

メジャー (トライアド)

著者が各コードの定番度や難度で特に重要と判断したダイアグラムでジャラーンと弾いた音が付録CDに収録されています(一瞬C音のベースが鳴ってからジャラーンです。最大で1トラック2つ)。どのダイアグラムを弾いているかは下の※で説明。

※すべてルート音はCです。

一般的なコード表記。

※□に任意のルート音が入る右側は構成音を度数の小さいほうから表示。

コード表記



構成音

ルート(1度)=R
長3度=3
完全5度=5



五線譜で表示した

コードの構成音

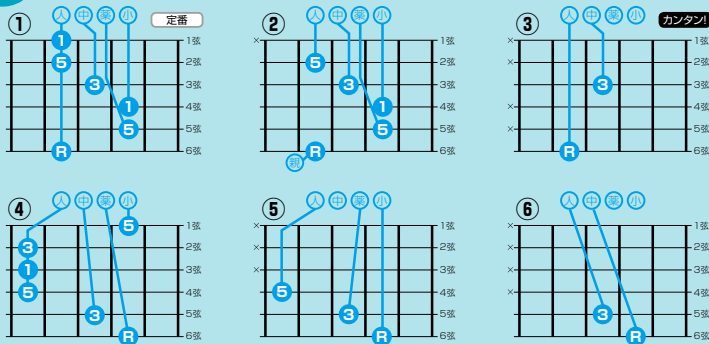
ルートはCで統一。

CD track 00

※3弦ルートのみ、
タミ3弦ルートのみ、
タミ3弦ルートのみ

6弦
ルート

① 定番、ローコードのE+セーハの形から通称Eフォーム、② 親指を使うボイスン、③ 10度の音程を利用した省略型、④ 小指の運指がやや難易度が高い。通称Gフォーム、⑤ 重ねのないクローズド・ボイスン、⑥ 2声のみの場合、正確にはダブル・ストップと呼ばれる。



左の円には「何弦にルートがあるダイアグラムなのか」を表示。

ダイアグラムの丸数字は解説の丸数字と対応。

フォームによっては「定番」「高難度」などの特徴アイコンが付いている。

第1章【基本】

三和音 と 四和音

まずはコード・ボイスングの基本となる、三和音、そして四和音を攻略していきましょう。コード・ネームとしてはベーシックなものばかりですが、意外と知らなかったフォームも多々登場するかもしれませんよ。

三和音とは？

まず最初に基本的なコードの仕組みについて学んでおきましょう。コード（和音）とは、高さの異なる音が積み重ねられ、同時に響いて作られる音のことです。原則として3つ以上の音が必要で、その数によって三和音（トライアド）や四和音（セブンス・コード）と呼ばれます。

●三和音（トライアド）

ルート（根音、基準となる音）、ルートの3度上の音、ルートの5度上の音、この3つの音から構成される和音を三和音（トライアド）と呼びます。三和音にはメジャー・コード、マイナー・コード、オーギュメント・コード、デミニッシュ・コードの4種類があります。さらにメジャー・コード、マイナー・コードの変形としてサスフォー・コードも追加しておきましょう。



※五線譜上から
5th
3rd
Root

●メジャー（トライアド）・コード □

ルート、メジャー3rd、パーフェクト5th、この3音を組み合わせせたコードがメジャー・トライアドです。一般的には明るい響きを持つとされています（中には暗く聴こえる人がいるかも!?!）。例えばCメジャー・トライアドであれば、ドレミファソラシドをCから、ひとつ飛ばしに3つ重ねると出来上がり。つまり構成音はドミソ（C、E、G）となります。コード・シンボル（表記）は基本的にルート音のみでOK。



※五線譜上から
5th
♭3rd
Root

●マイナー（トライアド）・コード □m

ルート、マイナー3rd、パーフェクト5th、この3音を組み合わせせたコードがマイナー・コードです。メジャー・コードとの違いは「3rd」で、こちらはメジャーに比べて3rdが半音下がった状態です。一般的には暗い響きを持つとされています。例えばCマイナー・コードであれば構成音はド、ミ♭、ソ（C、E♭、G）となります。コード・シンボルはm、mi、min、一など。

メジャー (トライアド)

コード表記



構成音

完全5度=5
長3度=3
ルート(1度)=R

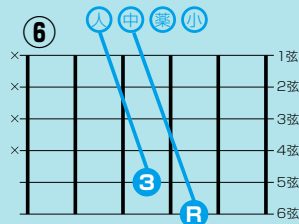
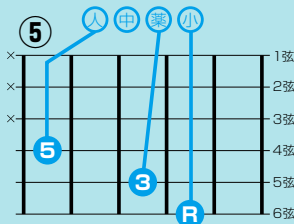
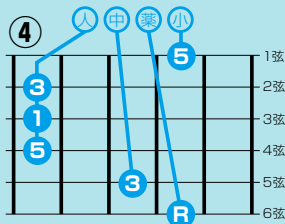
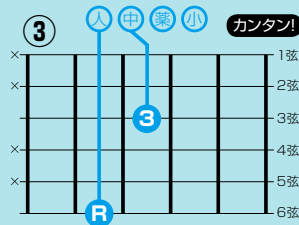
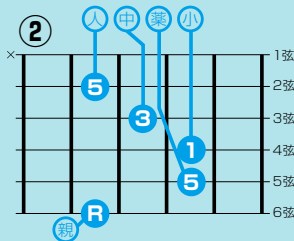
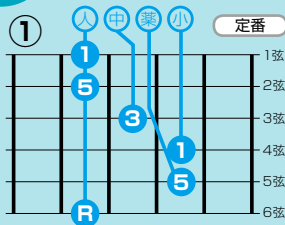


CD track 01

前半: 6弦ルートの①、
後半: 4弦ルートの⑨

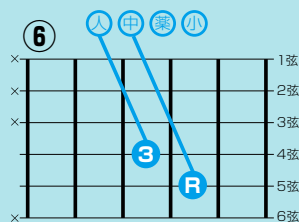
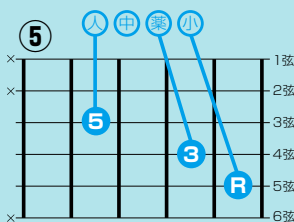
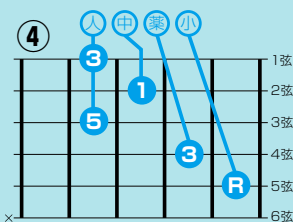
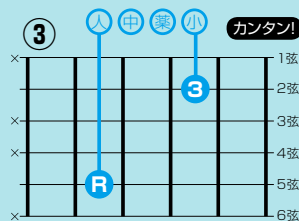
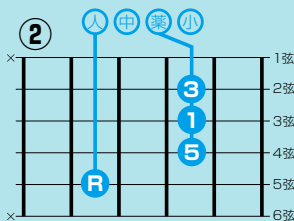
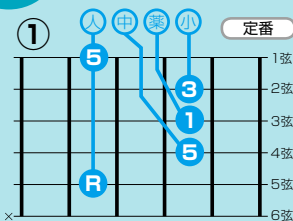
6弦ルート

①定番。ローコードのE+セーハの形から通称Eフォーム。②親指を使うポインティング。③10度の音程を利用した省略型。④小指の運指がやや難易度が高め。通称Gフォーム。⑤重複のないクローズド・ポインティング。⑥2声のみの場合、正確にはダブル・ストップと呼ばれる。



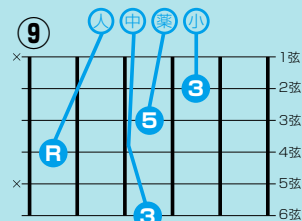
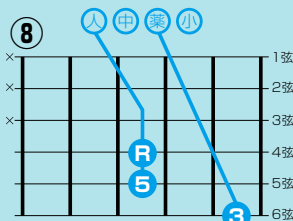
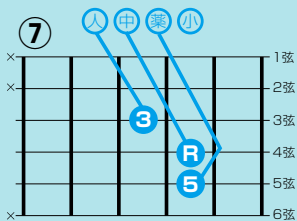
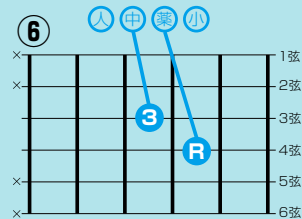
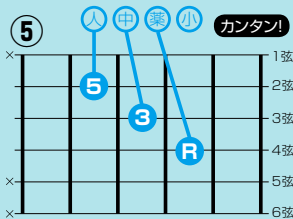
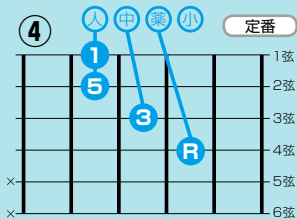
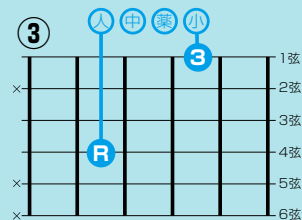
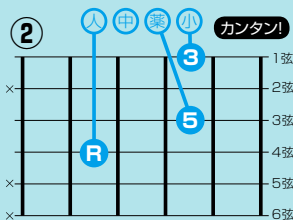
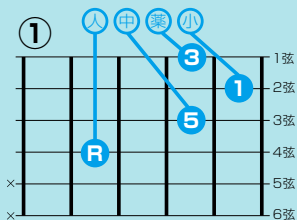
5弦ルート

①定番のセーハ・ポインティング。通称Aフォーム。②薬指でセーハするバージョン。1弦は薬指の腹でミュート。薬指がそるなら人差指で1弦5thプラスもあり。③レッチリの「Scar Tissue」のイントロなどで有名な10度の音程を利用した省略型。④通称Cフォーム。⑤重複のないクローズド・ポインティング。⑥2声ポインティング。



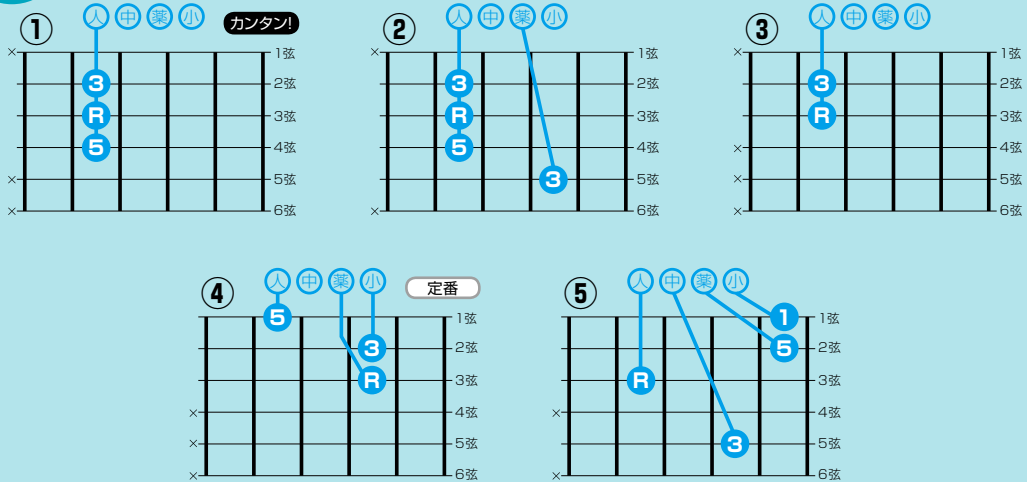
4弦ルート

①通称Dフォーム。②“①フォーム”から2弦のルートを省略、押さえやすくしたもの。③10度の音程を利用した省略型。④把握しやすくカッティングなどに便利。⑤“④のフォーム”から1弦ルート省略、押さえやすくしたもの。⑥2声。⑦ロー・レンジなボイスिंगはハードロック系リフでも重宝。⑧3度を最下部に転回。⑨3度を最下部に転回しつつワイド・レンジ。



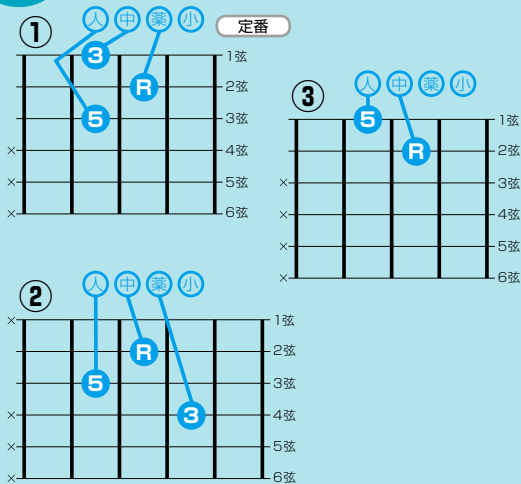
3弦ルート

①指1本で押さえられるエコミーなボイスング。②3度を最下部に転回したボイスング。③2声ボイスング。④高音のシャープなカッティングに最適。⑤3度を最下部に転回しつつワイド・レンジなボイスング。



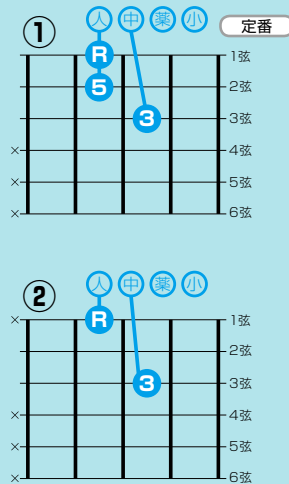
2弦ルート

①高音のシャープなカッティングに最適。②ミドル・レンジの3声ボイスング。③2声ボイスング。



1弦ルート

①把握しやすく押さえやすいボイスング: 必須。②6度音程のボイスング、メロディ、フィル弾きにも便利。



メジャー・セブンス

コード表記

Maj7

※□△7、□M7表記もあり

構成音

長7度=7
完全5度=5
長3度=3
ルート(1度)=R

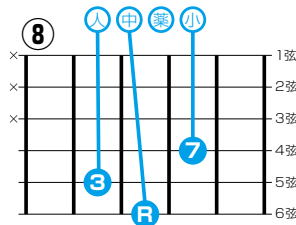
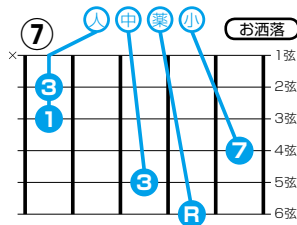
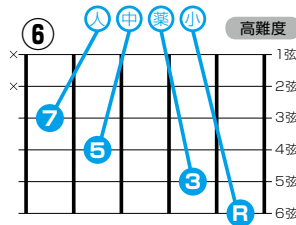
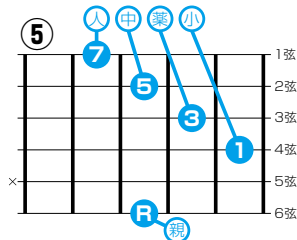
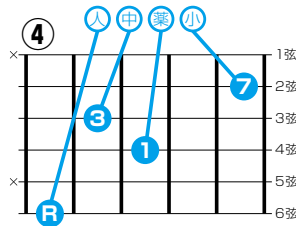
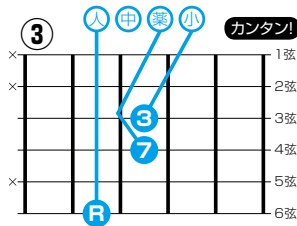
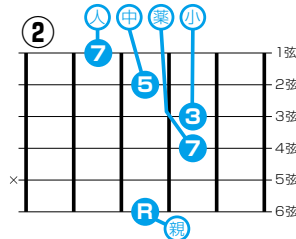
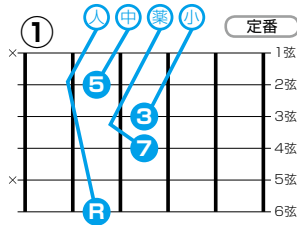


CD track 06

前半: 6弦ルートの①、
後半: 3弦ルートの⑥

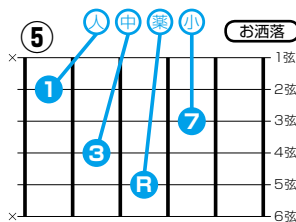
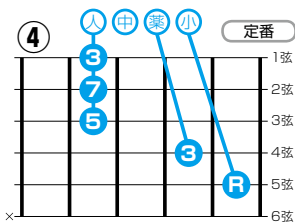
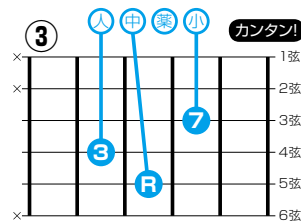
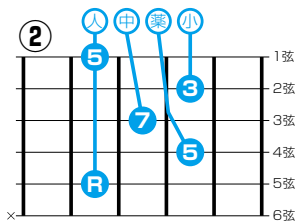
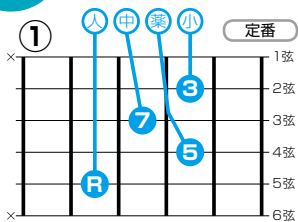
6弦
ルート

①定番ポインティング。下部に5thを置かないためにスッキリした響き。②親指を使ったフォーム。③ルート+3度+7度の3声ポインティング。ビッグバンドなどのリズム・ギターで多用される。④5thを省略。⑤は②より少しスッキリした響き。⑥低音部でのクローズド。キツめのストレッチ。⑦3弦4弦の半音のぶつかりがクール。⑧は③のトップをオクターブ下に変更。



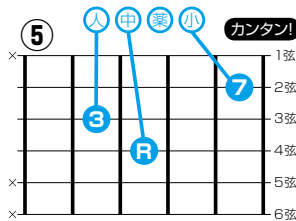
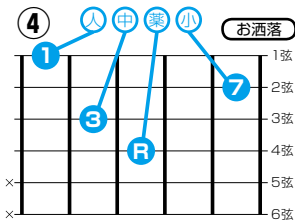
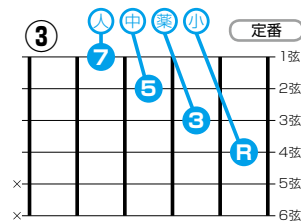
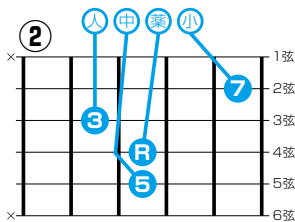
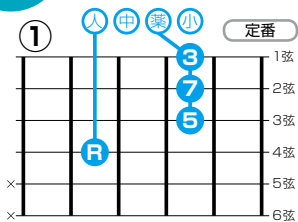
5弦ルート

①絶対必修の定番ポイシング。②は①に1弦5thを追加。③3声ポイシング。④響きのわかりやすい定番フォーム。⑤トップに半音のぶつかりがあり複雑な響きに聴こえる。



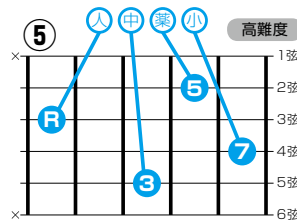
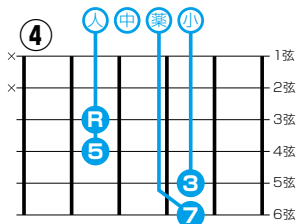
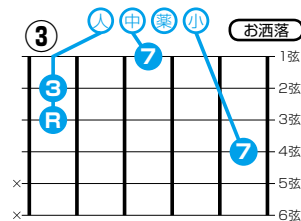
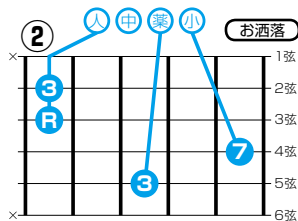
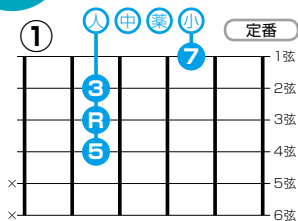
4弦ルート

①使いやすい定番。②どことなく優しい響き。③定番クローズド。④ややストレッチ・フォーム。⑤は④の1弦省略して押さえやすくなったバージョン。



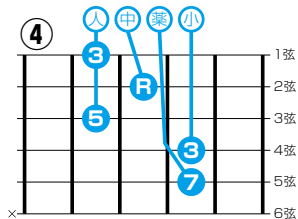
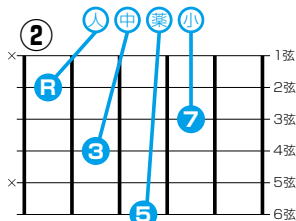
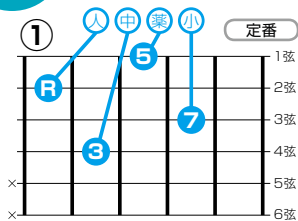
3弦ルート

① 7th トップ・ボイスिंग。② 渋い雰囲気響きの。5thは重要度低い場合多く省略することが多い。③ やはり半音のぶつかりがポイント。④ ルートと7thのb9インターバルがきつく聴こえることがあるので注意。⑤ ややストレッチ・フォーム。



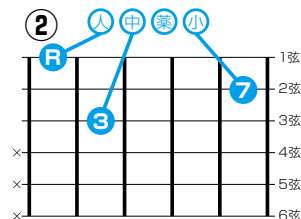
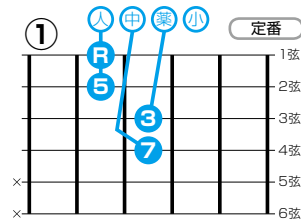
2弦ルート

① 5th トップ。響きが美しい。② 5th ベースのフォーム。③ 込み入った感じに聴こえる場合は1弦を省略してもよい。



1弦ルート

① ルートと7thのb9インターバルがきつく聴こえることがあるので注意。② 半音のぶつかりがポイント。



第2章【発展】

テンション と ルート省略

ベーシックなコードを覚えたあとは次の段階へステップアップ！テンションを交えたコード・ポイシングを身につけましょう。さらに「ルートを押さえない」という上級者のフォームにもチャレンジです。

テンション・コードとは？

◎テンションとは

テンションとはコード・トーン以外の音のことで、元のコードの響きに広がりや厚みを加えたり、機能を助長させたりするために加えるものです。

例えばCMaj7の場合、コード・トーンはC、E、G、Bの4つ。それ以外の音となると……

CMaj7

コード・トーン

テンション

7番目の音は
含まない



となります。B^bの^b7th、はこの場合テンションに含めません。ルートから7番目の音はマイナー7thでもメジャー7thでも“テンション”には含めないとされています。さらにテンションには2種類、“ナチュラル・テンション”と“オルタード・テンション”と呼ばれるものに分けられます。

- “ナチュラル・テンション” はダイアトニック・スケールに含まれる音
- “オルタード・テンション” はダイアトニック・スケール外の音

ここで図を見てみるとテンションはルート(C)から数えて2番目(D)4番目(F)6番目(A)の音、またはそれに[#]や^bがついた音であることがわかります。

このテンションについてはコード・トーンと区別して、2nd、4th、6thとは呼ばずに、オクターブ上げて**9th**、**11th**、**13th**と呼びます。

D ^b	D	D [#]	F	F [#]	A ^b	A
^b 9th	9th	[#] 9th	11th	[#] 11th	^b 13th	13th

単純に[#]や^bが付かないものを”ナチュラル・テンション”、[#]や^bが付くものを”オルタード・テンション”とする解釈もありますが、正確な違いとしては“ダイアトニック・スケールに含まれるかどうか”がポイントになります。

例えばkey=C上のIV Maj7であるFMaj7に対するB音(ダイアトニック・スケール内トニックのCから数えて7番目の音)は[#]11th(コードのルート音Fからは4番目、言い換えれば11番目のテンション)として[#]付きで表されますが、れっきとしたナチュラル・テンションということになります。

これらのテンションを付け加えたコードを“テンション・コード”と呼びます。



※五線譜上から
9th
5th
3rd
Root

●アドナインス・コード □add9

メジャー・トライアドにメジャー9thを加えたものがアドナインス・コードです。メジャー・トライアドではちょっと垢抜けない、でもメジャー7thを入れるとなんだかオシャレすぎる……なんて時に重宝するコードではないでしょうか。爽やかで洗練されつつもロック的なストレートさがある独特の響きが特徴です。9thと隣り合う3rdが省略されるケースも多く、その場合は3rdを2nd(9th)にサスペンドしたという意味でsus2(サスツー)と表記されることがあります。表記はadd9、sus2など。

アドナインス

コード表記

add9

構成音

長9度=9
完全5度=5
長3度=3
ルート(1度)=R

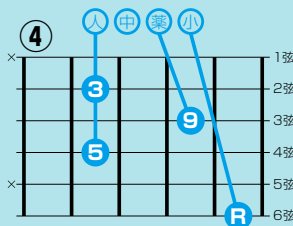
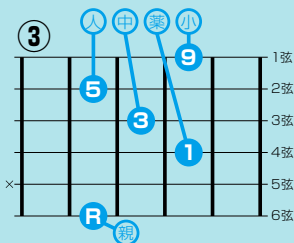
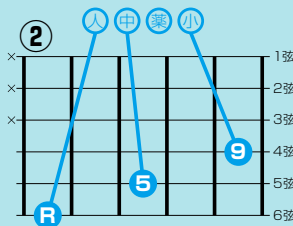
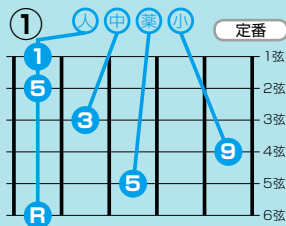


CD track 15

前半: 6弦ルートの①、
後半: 2弦ルートの②

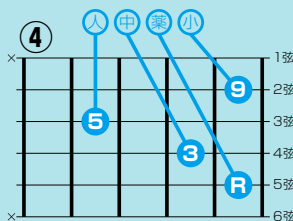
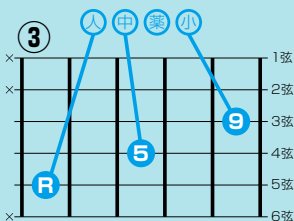
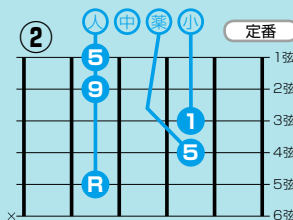
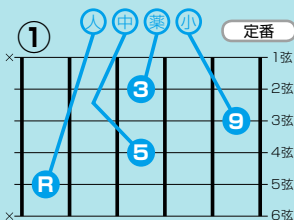
6弦ルート

① ややストレッチだが美しい響き。マスターしたい。② 歪ませるとモダン・ヘヴィネス的なサウンド③ 親指を使ったフォーム④ 小指が速めだがこちらも美しい響き。



5弦ルート

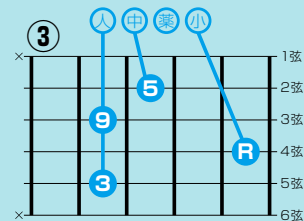
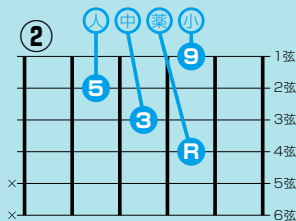
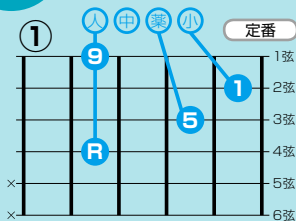
① ややストレッチだがスタンダードなフォーム。② 3rdがオミット(省略)されているが、押えやすさゆえに定番。③ パワーコード+9thというイメージで使える。④ ローコードのCのフォームからの発想。



アドナインス

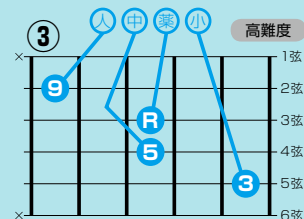
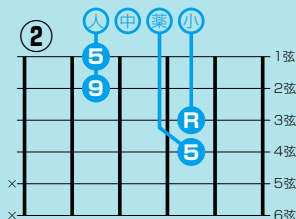
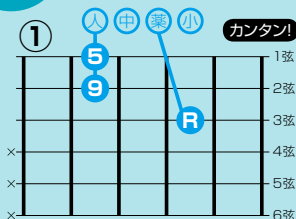
4弦ルート

① 3rdがオミットされている定番。② 把握しやすく使いやすい。③ 浮遊感のある響き。



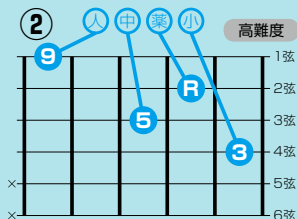
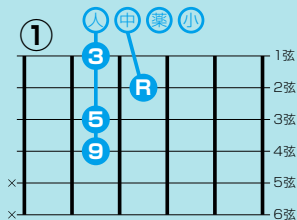
3弦ルート

① ストレートに響く3rdオミット。② は①のローに5thをプラス。③ 3rdと9thの共存にはストレッチが必要



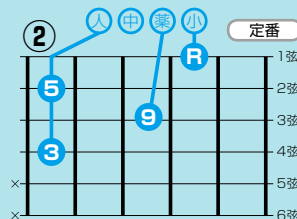
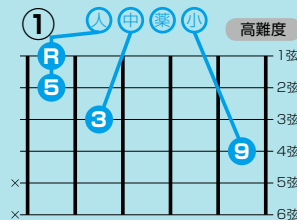
2弦ルート

① 楽に押さえられて小回りが利くフォーム。② ローボジではかなりキツイフォーム。



1弦ルート

① キツめのストレッチだがわかりやすい形。② 押さえやすいので、ぜひとも覚えたい。



ルートを省略したコードについて

本書ではここまでルートの位置を手がかりにさまざまなコードを紹介してきました。それはコード・ネームからコード・フォームを探る時に素早く確実な方法ではあるのですが、「必ずルートを押さえないといけない」という制約も産んでしまうことになります。指や弦の数が限られている上でのその制約は、ボイスイングの自由、ひいては演奏自体の自由を奪ってしまいかねません。

そこでルートを押さえない、ルートを省略したボイスイング、フォームも同時にマスターすれば、さらに自由度の高い演奏ができるでしょう。ここではその考え方について解説します。

●ルートの必要性

ここまで御紹介したようにコードにはたくさんの種類があります。その根っこ、大元になるのがルート（根音）です。このルート音を基に3度、5度、7度、その他テンション音をそれぞれ組み合わせることでコードを形成します。ただそこではルート音以外の構成音の組み合わせの違いで各々のコードがアイデンティティを持っているわけなので、逆に考えれば、共通音であるルート（例えばC Maj7、C7、Cm7、Cm7^(b5)などはルート音のCのみが共通している）を省いても各コードは判断できちゃうわけです。

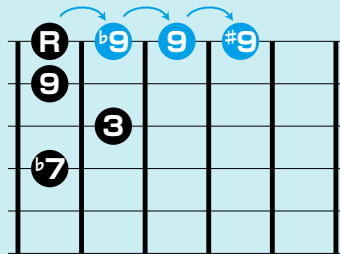
もうひとつ、エレキ・ギターを演奏するシチュエーションとしてはアンサンブル内にベース（それ以外の低音楽器の場合もありますが）が存在するケースがほとんどです。言わずもがなですがベースがルートを弾くケースがほとんどなので、ギター側ではベース音（＝ルート音）を抜いちゃっても平気だよな?ってことになるのです（ただしベースがいないシチュエーションやアコギ弾き語りなどでは最低音にルートを弾くことの重要度は増します）。

以上の理由で**必ずしもボイスイングの中にルートを含ませる必要はない**ということはおかると思います。

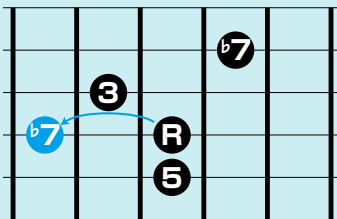
●ルートを省くことによる利点

単純にボイスイング上やコード・フォーム上でルートを弾く必要がなければ、代わりに新たな音を追加することができます。例えばルートのすぐ上の音は9th系（半音上には \flat 9th、全音上には9th）のテンションになるので、それらを簡単にアドオンする（加える）ことができます。逆にルートの下のほう（低い側）には7th系（半音下は7th、全音下は \flat 7th）のコード・トーンがあります。そこで7thを押さえて、別に7thを押さえていた箇所を音を下げることで13th系の

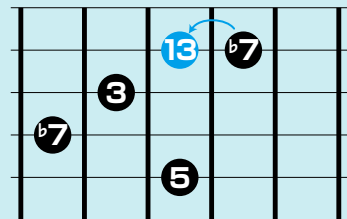
テンションを加える、なんてことができます。つまりテンション・コードを演奏する上で非常に楽になってくるのです。複数のテンションを盛り込むことも可能になってくるでしょう。ルートを省くことでボイスの自由度はさらに広がるのです。



ルートを省略して 9th 系テンションを付加



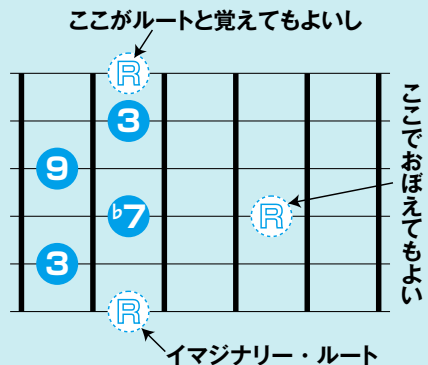
ルートを変更して新たに 7th 系の音を追加することで



元からあった 7th を 13th 系に変更することが可能

◎イマジナリー・ルート

“ルートを弾かない”ということは自由なボイスにとって非常に有利ですが“コード・ネームを見てコードを弾く”という作業の上では手がかりを失ってしまうようで不安な部分もあると思います。そこで**仮想上のルート**をコード・フォームと同時に把握することでその弱点を克服しましょう。次から紹介するルート省略コード・フォームにはこの**“実際は押さえていないルート”**である**「イマジナリー・ルート」**の位置が記載されています。この位置は基本的にコード・フォーム全体に近い場所、できるだけ低い位置を基本に設定していますが、皆さんの理解しやすい所に変えて覚えてもかまいません。自分が把握しやすいよう工夫しながら覚えていってください。



メジャー・セブンス・ナインス

コード表記

Maj7⁽⁹⁾

※□△7⁽⁹⁾、□M7⁽⁹⁾表記もあり。

構成音

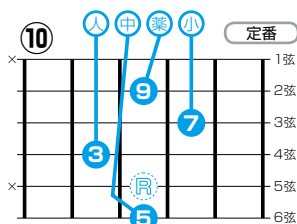
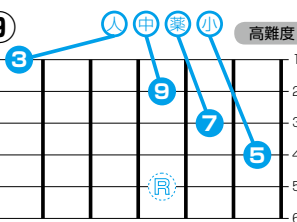
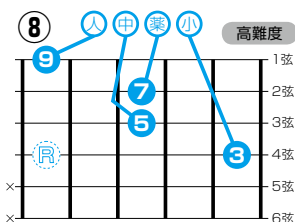
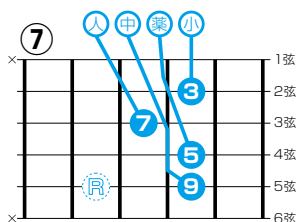
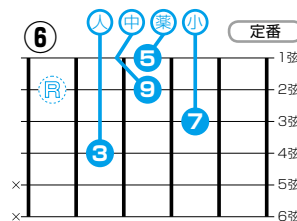
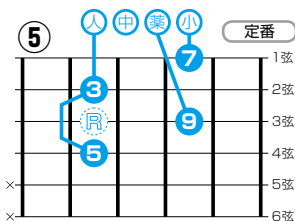
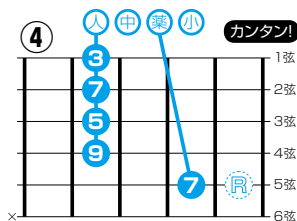
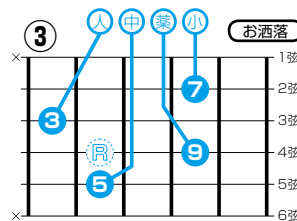
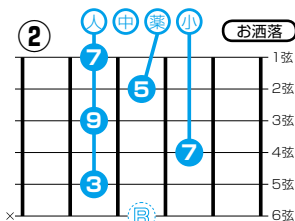
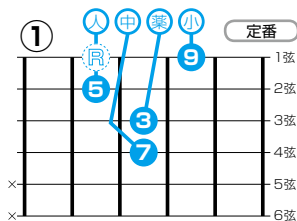
長9度=9
長7度=7
完全5度=5
長3度=3
ルート(1度)=R



CD track 30

前半:①、後半:⑨

① 9thをトップに置いた定番フォーム。② 押さえやすく手軽に9thを取り入れられる。③ 隣り合う3rdと9thが心地よい。④ 優しい響き。⑤ 分離がよくハイ・ポジションでのカッティングに最適。⑥ 早い段階で指になじませたいフォーム。⑦ 低い9thが重厚な響き。⑧ ややストレッチ・フォーム。⑨ ストレッチ・フォーム。ハイポジ推奨。⑩ 最低音が5thだとベースが近くても濁りにくく安心。



メジャー・セブンス・ナインス

ボイスングを 効率よくマスターするために その1

■音名やインターバルは指板上で確認しよう!

例えばギターレッスン中、生徒さんに「6弦のGから見て、長7度上の音を押さえてください」というお題を出したとします。その時に初心者の方は「えーっとGから数えて7つ目ですよね……1、2、3……Fか! 長だからF#かな? えーっとF#は4弦のどこだっけ……」みたいな感じで、指折り数えながら探して答えるケースが多いです。

それははっきり言って時間の無駄。ギタリストにとって、指板はグラフィカルで直感的に働く優れたユーザー・インターフェイスです。これを使わない手はないでしょう。

下の2つの図を頭に入れてしましましょう。

図1

b7	7	R	b2	2	b3
4	#4/b5	5	#5/b6	6	b7
b2	2	b3	3	4	#4/b5
#5/b6	6	b7	7	R	b2
b3	3	4	#4/b5	5	#5/b6
b7	7	R	b2	2	b3

図1はルート(基準音)を6弦、4弦、1弦に置いた時の各インターバルの指板上の分布図、同様に図2は5弦、3弦、2弦にルート置いた時のものです。パッと見は難しく見えるかもしれませんが、実は1オクターブ分(図3)を拡張しただけのものと考えれば、大したことはないです(ギターのチューニングの性質上、3弦と2弦をまたぐ際には位置が横にズれる点だけ注意)。

つまり「長7度上」と言われた瞬間に「長7度といえばこの形!」と右の図(図4)が頭に浮かび音名を判断するよりも前に押さえられるようになってほしいのです。即興演奏で「9thの音がほしいなあ」と思って、それから指折り数えていたら話になりませんからね。あとは指板上の音名も把握できるようになれば言うことなしです。

図2

4	#4/b5	5	#5/b6	6	b7
R	b2	2	b3	3	4
#5/b6	6	b7	7	R	b2
b3	3	4	#4/b5	5	#5/b6
b7	7	R	b2	2	b3
4	#4/b5	5	#5/b6	6	b7

図3

#5/b6	6	b7	7	R
b3	3	4	#4/b5	5
b7	7	R	b2	2

図4

b7	7	R	b2	2	b3
4	#4/b5	5	#5/b6	6	b7
b2	2	b3	3	4	#4/b5
#5/b6	6	b7	7	R	b2
b3	3	4	#4/b5	5	#5/b6
b7	7	R	b2	2	b3

第3章【応用】

コードの作り方 と トップ・ノート活用

ここまででいろいろなコード・ボイシングを体感できたかと思います。ここからはさらに自分でボイシングを構築していくための知識、そしてトップ・ノートを活用する効能について学んでいきましょう。

コードを作ってみよう

この本ではダイアグラムを使いコード・ボイスンク、フォームの可能性を数多く紹介しています。

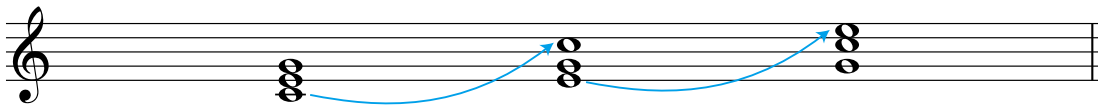
- ①知りたいコードを検索
- ②気に入ったボイスンクをチョイス
- ③押さえて覚える!
- ④さらに使い倒して定着させる!

この手順で多くのコード・ボイスンクをどんどん手に入れていただきたいと思うのですが、その時に「コードを作る」ための基本的な知識や技術があれば、ボイスンクの成り立ちを想像することができ、さらに習得の効率を高めることも可能です。ボイスンクへの理解が深ければ、アンサンブルの中でも常に効果的なボイスンクをストックの中から引っ張り出せるようにもなります。さらにアレンジして新たなボイスンクの可能性を探ることもできます。

ではまず三和音から作ってみましょう。

例えばCメジャーのコードをクローズ・ボイスンク（和音が1オクターブ内に収まったもの）の3声で演奏する場合、下の譜例のようなボイスンクのバリエーションが考えられます。

譜例 1



左はルートが一番低い音になっているボイスンク。これが“基本形”です。それに対して真ん中や右のように、構成音の長3度や完全5度の音を一番低い音に持ってきたボイスンクを転回形と呼びます。それぞれをギター上の6弦～4弦までに限定して弾いてみると譜例2のようになります。

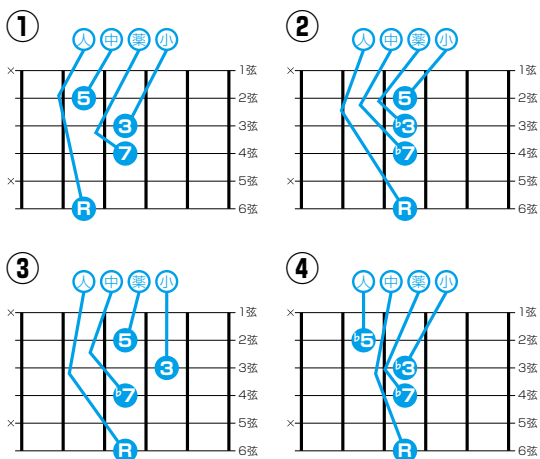
第4章【実践】

ポイント別 の ボイシング練習

もうギター・コード・ボイシングの基盤となる知識はひとつおりに身についたと思います。最後に各ポイントを強調した実践的な演奏例によって、ボイシングへの理解をぐっと深めていきましょう。

EX-1

6弦ルート・フォームを鍛えよう!



6弦にルートを置いたボイシングで、Key Gのダイアトニック・コードを順に押さえていきます。演奏するテンポは模範演奏より遅くてもOKですから、まずは各弦を確実に鳴らしていきましょう。演奏するギターの様によっては13f以上のボイシングを押さえるのが厳しいことがあるかもしれません。その場合は譜例を1オクターブ下げて練習しましょう。

CD track 74

♩ = 40

① Gmaj7 ② Am7 Bm7 Cmaj7 ③ D7 Em7 ④ F[#]m7(b⁵) Gmaj7

① Gmaj7 ② F[#]m7(b⁵) Em7 D7 Cmaj7 Bm7 Am7 Gmaj7

Guitar
magazine 2015年9月号

6~5弦ルートのみから卒業! ギター・コード・ ボイシング 完全攻略!

リットーミュージック・ムック

2015年9月24日 第1版1刷発行

ISBN978-4-8456-2667-0

定価(本体1,800円+税)

著者 山口 和也

発行所 株式会社リットーミュージック

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

[ホームページ] <http://www.rittor-music.co.jp/>

[出版営業部]

TEL:03-6837-5013 / FAX:03-6837-5024

[広告営業部]

TEL:03-6837-4704 / FAX:03-6837-4712

[お客様窓口/商品に関するお問い合わせ]リットーミュージックカスタマーセンター

TEL:03-6837-5017 / FAX:03-6837-5023 / E-MAIL: info@rittor-music.co.jp

※乱丁・落丁がありました場合は、弊社にてお取り替えいたします。

[書店・取次様ご注文窓口]リットーミュージック受注センター

TEL:048-424-2293 / FAX:048-424-2299

発行人 古森 優

編集人 松本 大輔

編集長 小早川 実穂子

編集担当 杉坂 功太

デザイン & DTPオペレート 杉山 勝彦、平井 朋宏 (LOVIN'Graphic)

浄書 クラフトーン

写真 山下 陽子

CDマスタリング 角 智行

CDプレス 株式会社JVCケンウッド・クリエイティブメディア

印刷/製本 共同印刷株式会社

RITTOR MUSIC SEPTEMBER 2015 PRINTED IN JAPAN

©2015 Kazuya Yamaguchi

©2015 Rittor Music, Inc.

※本誌記事/写真/図版などの無断転載は固くお断りします。

山口 和也 Kazuya Yamaguchi

やまぐち・かずや:1982年生まれ/大阪出身。幼少の頃よりピアノを学び、15才でギターを始める。2002年頃からライブ・サポート、セッション・ギタリストとしてのレコーディング参加など、プロとしての活動を開始。2006年、ブルージィなスタイルを生かして、すべての作曲/アレンジ/プログ



ラミングを担当したブルース・ギター・インスト・アルバム『Mojo Tribe』を発表。ギター・インストラクターとしての活動も行っており、プロアマ問わず数百人のギタリストへの指導経験を持つ。『イントロからエンディングまで! 完奏方式で完全制覇! "使える"ブルース・ギター』『パワー・コードから前進! ブルースで覚える大人のコード・ワーク』『16ビートが身につく! ファンクで覚える大人のカッティング』『ペンタトニックから前進! ブルースで覚える大人のスケール・ワーク』(以上すべて小社刊)といったギター&ベース教則本やギター誌講座の執筆活動の他、楽器メーカーのアドバイザーとして新製品の開発にも携わり、デモンストレーション演奏やクリニックでも国内外にて活動。最近では宮脇俊郎、小林信一、野村大輔、菰口雄矢という日本屈指のギタリストとともにGentle Guitar Vを結成、1stアルバム『Gentle Guitar V』をリリース。その他に、現在活躍中の若手ミュージシャンを中心に構成されたスムーズ・ジャズ・バンド『A(ドットセブン)』を結成、精力的に活動している。

※プライベート・レッスン&プロ・ミュージシャンを交えたアンサンブル・レッスン開講中。

詳細は下記のオフィシャルサイトにアクセス、または「山口和也 プライベート・レッスン」で検索。

●山口和也オフィシャルウェブサイト

<http://kazuya-yamaguchi.net/>